

重点施策14 文化財の保存及び積極的な活用

【施策方針】

文化財の保存や活用に努めるとともに、ふるさと文化再興事業により伝統的行事文化の継承を図り、旧白石和太郎洋館を中核とした保内町の古いまちなみの保存、紹介を行っている。

【実施状況】

(1) 主な施策・事業

文化財の保存、継承

- ① 日土小学校中・東校舎国重要文化財指定
- ② 梅之堂三尊仏の一般公開
- ③ 旧白石和太郎洋館管理、一般公開
- ④ 文化財説明看板設置
- ⑤ 文化財保護審議会の開催

(2) 主な施策・事業の実施状況

① 日土小学校中・東校舎国重要文化財指定

平成21年度改修工事の終了した中・東校舎が平成24年12月28日に国の重要文化財に指定となった。

(国指定重要文化財指定に伴う看板、冊子の作成費 903 千円)

② 梅之堂三尊仏の一般公開

国指定の重要文化財である梅之堂三尊仏の一般公開は5月から12月の第2日曜日に行っている。

③ 旧白石和太郎洋館管理、一般公開

旧白石和太郎洋館については、旧保内町時代から改修を重ねてきたが、その改修も平成18年度に完了したため、これを毎月第2・第4日曜日に一般公開並びにイベントや会議に貸し出しを行い、旧保内町の繁栄、栄華の跡を今日にまで遺すものとして、希望者に無料で公開している。また、この旧白石和太郎洋館の管理を一般から募集し、委託している。(旧白石和太郎洋館管理委託料 240 千円) まちなみ見学用駐車場及び公衆トイレ管理業務については、同じくこの旧白石和太郎洋館の管理者に委託している。この見学用駐車場と公衆トイレは、旧白石和太郎洋館を中核とした旧保内町のまちなみの見学者・来訪者専用につ造ったものである。(まちなみ見学用駐車場及び公衆便所管理業務委託料 240 千円)

④ 文化財説明看板設置

市指定文化財の説明版を計画的に修繕している。平成24年度は3か所(愛宕山、諏訪崎、二宮啓作生誕地)の説明版を設置した。(案内説明板の設置3件 備品購入費 584 千円)

⑤ 文化財保護審議会の開催

旧八幡浜市、旧保内町から各5人ずつ合計10人の有識者による文化財保護審議委員を、これも各分野から専任し、文化財の保護、および新しい市文化財の指定、指定の解除等について議論をし、意見、助言をいただいている。

【学識経験者意見】

1. 日土小学校が国の重要文化財に指定されたことは、大変、素晴らしいことである。今後、設計者である松村正恒氏の顕彰や校舎見学会を精力的に実施していただきたい。
2. 旧八幡浜市、旧保内町が作成した文化財を紹介する冊子について点検調査し、新しく追加する物、また無くなった物等を整理するとともに、八幡浜市文化財の本として1冊にまとめてもらいたい。
3. 保内町には貴重な歴史的建築物が数多く残っており、保内ボランティアガイドの皆さんが熱心に案内しておられます。ぜひ多くの方々に見学に来てもらうよう、関係機関等に働きかけるとともに、各種のボランティア団体等が継続して活動できるよう、支援や育成をお願いしたい。

【自己評価】

1. 市内に現存する松村建築を顕彰するため、特に平成25年度からは昨年度末に廃校となった旧長谷小学校の調査を実施しております。地域の要望を踏まえ、60年近く前の当初の状態に戻す保存再生事業を実施したいと考えております。また、日土小学校の校舎見学会は今までに15回開催し、県内外から3000人を超える見学者があり、今後も長期休みの期間中に年3回実施していきたい。
2. 今年度中に原稿をまとめ、平成26年度には八幡浜市文化財の本としてまとめる予定で、文化財保護審議会委員などで作業を進めております。
3. 保内町には保内ボランティアガイドの皆さんが、町並みを熱心に案内しておられます。ぜひ多くの方々に見学に来てもらうよう、関係機関等に働きかけるとともに、各種のボランティア団体等が継続して活動できるよう、支援や育成をしてまいりたいと思います。